

Introduction

ごあいさつ

エクソンモービル・ジャパングループは、新生東燃ゼネラルグループへ



東燃ゼネラル石油株式会社、EMG マーケティング合同会社（旧エクソンモービル有限会社）は、2012（平成24）年6月から日本資本を主体とする製販一体のグループ企業として運営されることとなりました。およそ120年にわたる当グループの歴史を紐解き、今回の再編の意義をご説明いたします。

1893（明治26）年灯油の輸入販売のため、ソコニー（スタンダードオイル・カンパニー・オブ・ニューヨーク）は、横浜に日本初の支店を開設しました。灯油ランプが照明として使われていた時代のことです。同年、潤滑油の輸入販売のため、ヴァキュウムオイルも横浜に日本支店を開設。同社の高品質な潤滑油と顧客への技術サービスは、その後日本の紡績産業を世界一の座に押し上げる原動力の一つとなりました。これらが、我が国におけるエッソ、モービルブランドでの石油製品販売の源流です。

一方、1939（昭和14）年、航空燃料、航空潤滑油という当時のハイテク石油製品製造のため、国内石油企業の共同出資により東亜燃料工業が設立されました。精製専門の同社は、高度成長期の1960（昭和35）年に、東燃石油化学を設立し、石油化学産業への進出も果たしました。

さらに第3の流れとして、戦後間もない1947（昭和22）年、財閥解体により三井物産燃料部は独立し、ゼネラル物産を設立。後に、石油精製およびゼネラルブランドで石油製品販売を行う企業となりました。

こうした3つの流れは、2000（平成12）年7月に、エクソンモービル・ジャパングループとして1つに集約されました。ただし、資本関係は、エクソンモービル100%出資会社のエクソンモービル有限会社と、東京証券取引所第一部上場企業で、エクソンモービル有限会社が50.02%出資する東燃ゼネラル石油という複雑な関係が続いていました。

そして、2012（平成24）年6月。東燃ゼネラル石油のもと、精製・販売が実質的に一体化した、新たな東燃ゼネラルグループが誕生することとなりました。グローバルな機能・事業別の縦割りの組織から、国内で完結する一体型組織へ。

外国資本が過半数の株式を所有するグループから、日本の資本が大半を握るグループへ。およそ120年の時を経て、最も効率的な経営を行う体制が整うこととなったのです。

エクソンモービル・ジャパングループ誕生から、私たちはグローバル企業とはいかなるものかを身をもって経験してきました。

そして、そこから得られたノウハウは、私たちの血となり肉となっています。そこに、日本の市場にマッチした経営を取り入れることで、今後はグローバルな知見をベースに、より迅速に市場ニーズへ対応していくことが可能となります。

世界最先端の技術、ノウハウを活用しつつ、日本の実情を踏まえた卓越したサービスとともに、石油製品・石油化学製品の安定供給に努めてまいります。新生東燃ゼネラルグループをよろしくご挨拶申し上げます。

2012年6月1日

EMG マーケティング合同会社
社長

東燃ゼネラル石油株式会社
代表取締役 副社長

廣瀬 隆史

東燃ゼネラル石油株式会社
代表取締役社長

武藤 潤

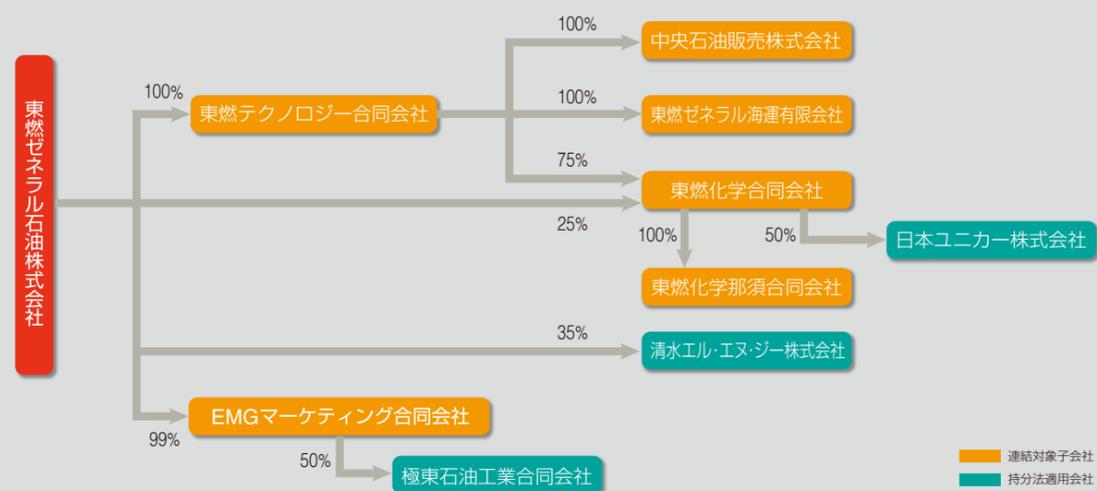
東燃化学合同会社
社長
東燃ゼネラル石油株式会社
取締役

小野田 泰

良き伝統を堅持しつつ、新体制のメリットを追求します



■ 主要な連結会社・関連会社 (2012年6月1日現在)



卓越した経営方針の堅持

- 完璧な操業の継続
当グループが培った業界トップレベルの安全および環境の実績を継続し、今後も完璧な操業を続けていくという方針に変更はありません。
- 一貫性のある経営管理
高い企業倫理、実効性のあるコーポレート・ガバナンスや業務遂行基準、そして透明性の高い財務報告は一貫性のある経営管理の基本として継続します。
- 厳格な財務規律
従来同様、どの案件についても厳格な投資基準を適用します。そして当グループの強みであるあくなき自助努力の追求や効率性の向上努力を続け、健全な財務基盤を維持し続けてまいります。
- 優れた人材の育成
当グループの誇りは上で述べたような責任感・倫理観の高い優れた能力を有する従業員が日々精勤していることです。今後も優秀な人材の育成に注力します。
- 株主重視の経営
高い競争力と資本効率を維持し、安定配当を今後も続けていくという従来からの株主重視の経営方針が変わることはありません。

新体制で目指す姿

- 製販一体経営
より徹底した製販一体経営により事業部門間の連携を一層緊密にし、国内の事業環境の変化に即応できる効率的な経営を行います。
- より高い競争力の実現
日本の事業環境に適した投資機会を検討し、さらなるコスト競争力の強化と収益機会の拡大を行います。また、国内における他業種との共同マーケティングなどを通じて石油製品の販売競争力を強化するとともに、石油コンビナートにおける他社との協業の高度化や、効果的な省エネルギー投資の実行を検討します。
- 安定した事業基盤の拡充
上記の施策を実行する基盤として、石油精製、石油化学、燃料販売事業の組み合わせにより、継続して安定した利益とキャッシュ・フローの創出を目指します。

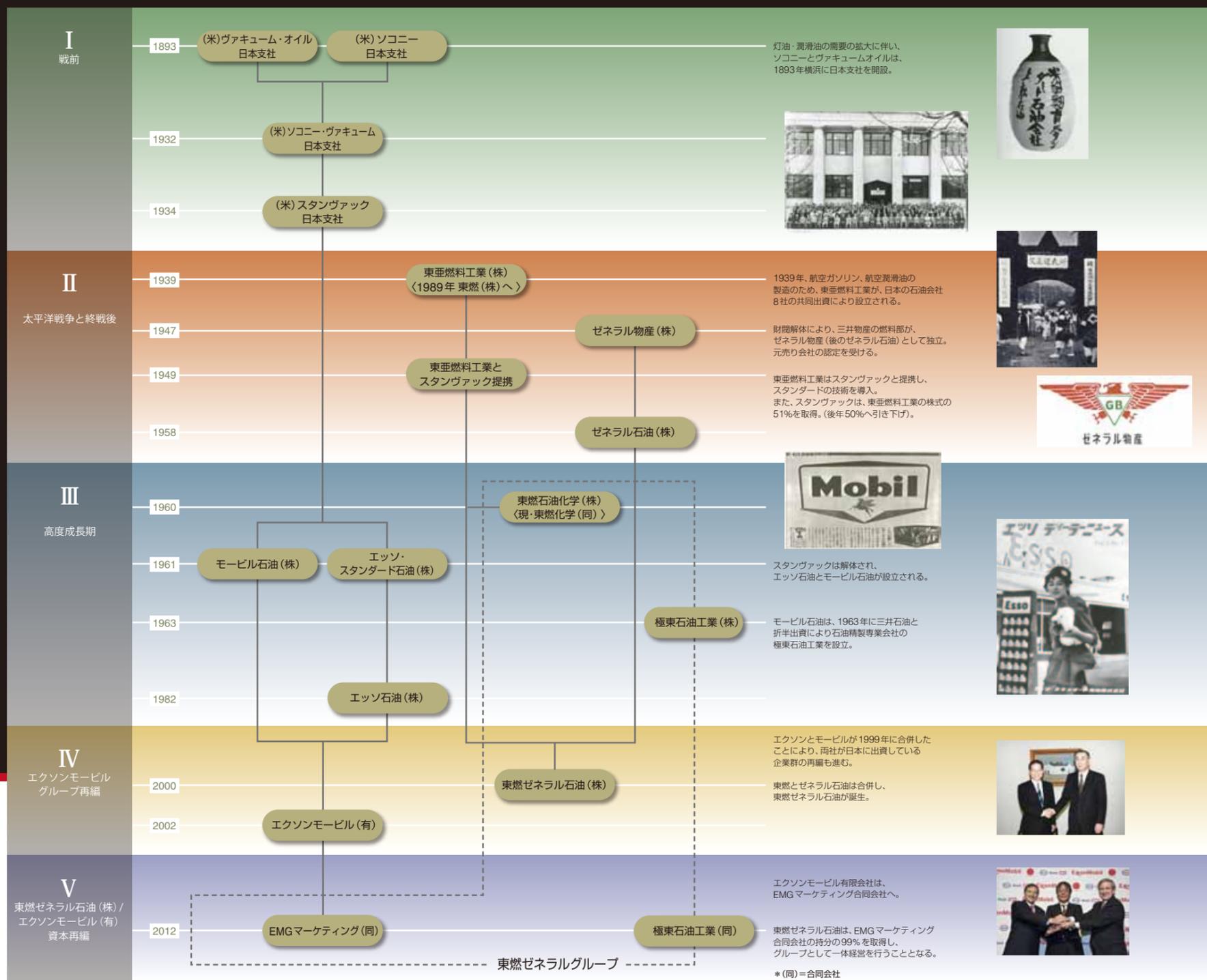
■ エクソンモービルとの協力関係は今後も継続

<h3>燃料販売ブランドの使用</h3> <ul style="list-style-type: none">● Esso Mobil ● Express ● Speedpass 	<h3>潤滑油の事業提携</h3> <ul style="list-style-type: none">● モービルブランド (Mobil 1等) の使用● 生産・品質管理技術● 共同研究開発● 製品・基材油のエクソンモービルグローバルネットワークの活用
<h3>技術サポート</h3> <ul style="list-style-type: none">● 石油精製● 石油化学● マネジメントシステム	<h3>供給における協力関係</h3> <ul style="list-style-type: none">● 原油● 原材料● 製品輸出入

Corporate History

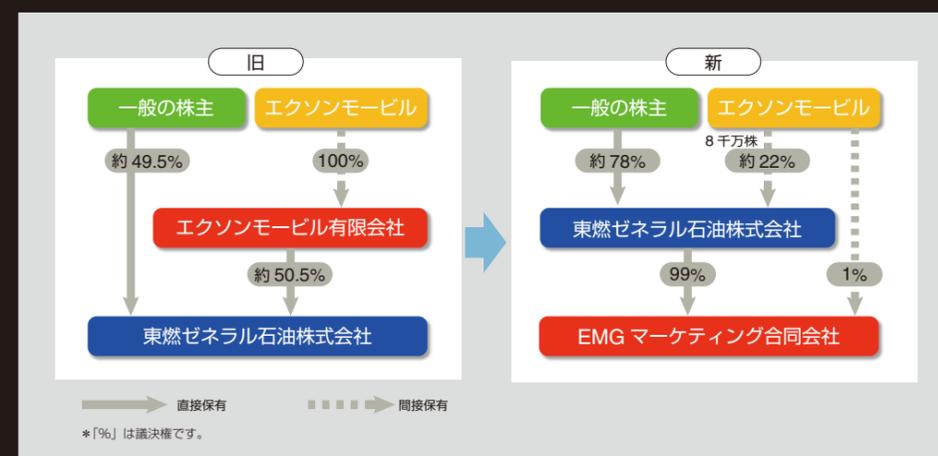
沿革

120年の時を経て、日本資本による精製販売事業の統合へ

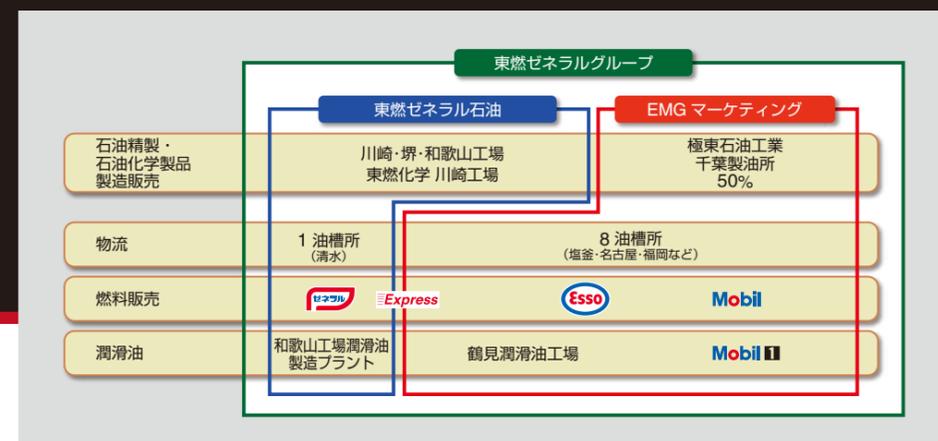


■ 資本再構成の概要

東燃ゼネラル石油は、EMGマーケティング合同会社(旧エクソンモービル有限会社)の持分の99%を取得し、エクソンモービルと新たな提携関係に移行しました。エクソンモービルは東燃ゼネラル石油株式8千万株を有する主要株主として留まります。



これにより、以下のような製販一体経営が可能となります。



Business Overview

事業概要

グローバルベストを日本の皆さまへ



東燃ゼネラルグループは、世界各国から最適な原油・半製品を輸入し、国内の製油所で各種石油・石油化学製品を効率的に生産し、販売しています。また、製品の一部は海外へ輸出されています。輸入、精製・生産、物流そして販売・輸出に至るまでの一貫した操業体制により、グループとしての総合力を発揮しています。また、それぞれの事業活動に、世界最先端の技術・ノウハウを活用し、グローバルベストを日本の消費者の皆様へ提供しています。

東燃ゼネラルグループは、原油輸送→精製・生産→物流→販売のサプライチェーンを担っています。



■ 原油輸送

当グループで使用する原油は、中東、ロシア、西アフリカ、オーストラリア、東南アジア等、幅広い地域から、安全かつ効率的に、国内4カ所の製油所へ運ばれてきます。

■ 精製・生産

製油所・石油化学工場では、安全を最優先しつつ高度な生産システムと厳しい品質管理により、LPG、ガソリン、ナフサ、灯油、軽油、潤滑油などの各種石油製品および石油化学製品を低コストで生産しています。

■ 物流

工場で生産された石油製品や石油化学製品は各地へ運ばれ、そこからお客さまのもとに配送されます。安全で効率的なオペレーションを心掛けています。

■ 販売

SS（サービスステーション）では、エクソンモービルのノウハウを最大限に活用しています。燃料油、潤滑油、石油化学製品ともお客さまに満足いただける世界最高水準のサービスと製品をお届けしています。

Research & Engineering 研究開発

中央研究所では、潤滑油製品および燃料の研究開発を行っています。

潤滑油製品の研究開発は研究所創立以来70年以上の歴史を持ち、最先端の高性能製品を数多く開発しています。特に、自動車用潤滑油製品については、自動車会社との共同研究を通して、燃費や信頼性・快適性を向上させ、また、自動車の環境対応技術に貢献する製品を開発しています。なお、研究開発は、エクソンモービルとの連携をとりながら効果的に進めています。

燃料分野においては、燃料品質・エネルギー関連の様々な課題に対して、科学的知見に基づく対応策のあり方を常に検討し、国や業界の共同研究・調査活動にも企画段階から主体的に関わっています。その活動を基に、関連業界、政府に対して積極的に提言しています。また、各工場および燃料販売部門に対して、製品の品質・性能に関する技術サポートを行っています。



製造技術部門では、エンジニアリング業務を遂行しています。

当グループでは、エンジニアリングを企業活動を支える重要な柱の一つと位置付けています。製造技術部門では、プロセス・装置・プロジェクトの各関連技術分野のスペシャリスト集団が、技術提携先であるエクソンモービルはもとより、国内外の最新技術情報を駆使し、プロジェクトの計画から実行、並びに既存設備の高安全性、高信頼性、高性能での運転を追求するためのエンジニアリング業務を遂行しています。



Refining & Manufacturing

精製・生産

安全を最優先した燃料油・潤滑油・石油化学製品のローコスト生産体制

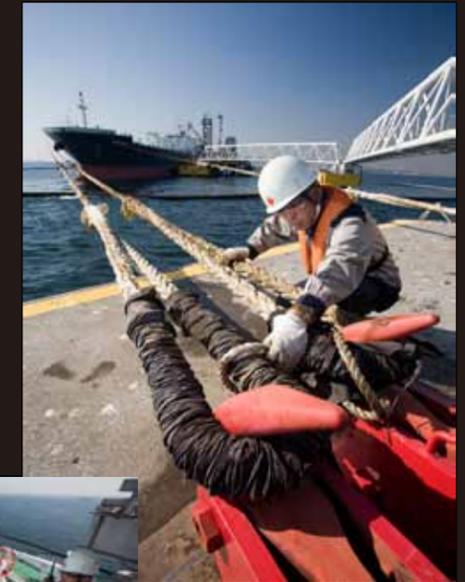


我が国最大級の石油精製工場

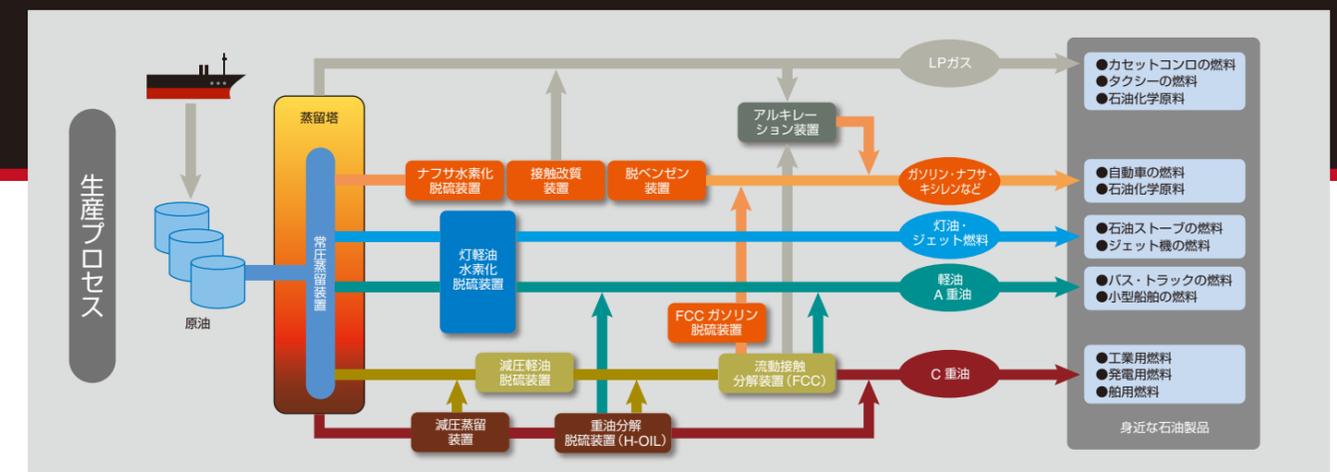
■ 川崎工場

川崎工場は、陸上ならびに海上輸送の便に恵まれ、かつ大消費地である首都圏を背後にひかえた京浜臨海地帯に立地しています。我が国最大級の石油精製能力を持つ当グループ最大の製油所であり、日本最大のFCC（流動接触分解装置）、日本唯一のH-Oil（重油分解脱硫装置）を有しています。

東燃化学のエチレン製造装置等とは、同一敷地内で有機的に結ばれています。石油精製プラントと石油化学プラントは、製品の相互融通、設備の共用、組織の統合により一体運営され、効率の高い生産体制を実現しています。



世界各国から最適な原油および半製品を輸入し、4つの国内製油所で石油・石油化学製品を製造する。これが生産部門の基本的役割です。安全操業を最優先にしつつ、より高い付加価値を追求し、様々な原油の調達、製品輸出にも努めています。また、環境保全、とりわけ気候変動問題への対策にも取り組んでいます。



エネルギー効率に優れた 関西の一大生産出荷拠点

■ 堺工場

堺工場は、西日本の大消費地である大阪に展開する堺泉北臨海工業地帯に位置しています。

石油精製に加えて、パラキシレンやプロピレン等を生産する石油化学との一体型工場です。

また、コンビナート近隣他社へは原燃料供給等を相互に行うパイプラインが敷設され、シナジー効果も追求しています。

関西最大規模の出荷ターミナルでは、わが国初のボトム・ローディング（安全・確実な地上底積）方式採用により環境保全と徹底した安全性の向上を図り、積込作業の迅速化を実現しています。

さらに、製油所のエネルギー効率は日本でトップクラスであり、好立地と環境・安全・効率性に優れた設備と運転により同工場は高い競争力を保持しています。



内外のニーズにフレキシブルに対応できる 一貫生産拠点

■ 和歌山工場

紀伊水道に面した和歌山工場は、「有田みかん」の産地と豊かな漁場に囲まれ、閑静な住宅地に隣接しています。

そのため、環境保全に細心の注意を払いながら、操業においては世界でも高水準の安全性を維持しています。

長い歴史を刻む同工場は、現在もガソリン等の一般燃料や各種潤滑油、芳香族系化学製品に加えて、各種航空燃料や自動車テスト用燃料等の特殊製品を含む複合的な石油製品の一貫生産拠点です。

さらに、多くのタンクと天然の良港に位置する海上出荷設備を駆使して、輸出にも柔軟に対応しつつ国内のエネルギー供給に貢献しています。



■ 極東石油工業 千葉製油所

千葉地区の石油コンビナートに位置する製油所です。極東石油工業合同会社は、当グループと三井石油株式会社の折半出資により設立されました。



■ 和歌山工場潤滑油製造プラント

和歌山工場で製造された潤滑油基油を使用し、添加剤等と調合した製品をドラム缶、ペール缶、4L缶等に充填し出荷しています。



Fuels Marketing

燃料油販売

信頼のブランド「エッソ」「モービル」「ゼネラル」



■ 小売

東燃ゼネラルグループは、「エッソ」「モービル」「ゼネラル」の3ブランド共通の販売施策を全国展開し、高品質な石油製品を適正な価格で安定的にお客様に提供しています。また、業界に先駆けてセルフSSを拡大。様々な工夫が施された「エクスプレス」ブランドSSの展開によって、差別化を図っています。私たちは、常に変化し続けるお客様のニーズに的確に対応しながら、環境・安全に配慮したSSの運営を進めていきます。



東燃ゼネラルグループを支える信頼あるブランド。そして社会のニーズに柔軟に対応する幅広い業態とサービス。私たちは、燃料油、LPガス、潤滑油、石油化学製品といった幅広い分野にわたり、社会へ確かな製品を供給しています。当グループの強みは、顧客第一主義をモットーに、世界中で蓄積されたベストプラクティスを採り入れていることです。



「エッソ・オーバル」は、1933年にSTANDARD OIL社により設定されました。ESSOはその頭文字のS(エス)とO(オー)を続けて「エッソ」と発音し、その発音通りに書き表したものです。オーバルとは「卵型」の意味です。



明るいブルーを使い、Oの字のみを赤くしたこのマークは、遠くからも目につきやすく高い視認性を持つマークとして1966年に誕生しました。「信頼、エネルギー、情熱、アクション」の象徴として親しまれています。



1967年、赤と青のゼネラルマークが誕生しました。「焔のエネルギー」と「翼のスピード感」を象徴し、石油会社にふさわしい力強さ、近代感をも表しています。

Express



■ セルフSS「エクスプレス」ブランド

東燃ゼネラルグループが展開するセルフSS「エクスプレス (Express)」のコンセプトは、「最もすばやく、最も簡単な操作で、最もきれいで快適な設備で、給油サービスを提供すること」。このブランド・バリューをさらに進化させるために、販売促進プログラムの強化や、接客サービスの向上、清潔なSSづくりの徹底など、ハード・ソフト両面におけるサービスの充実を図っています。

■ 「エクスプレス」の利便性

お客様に最も支持されるセルフのトップブランドの地位を維持・強化するために、様々な独自の取り組みを行っています。

シナジーカード

エッソ・モービル・ゼネラル系列の加盟SSで利用できる、個人向けの共通クレジットカードです。利用金額に応じて燃料油値引きや年会費無料サービスを受けられるなど、様々な特典がついています。



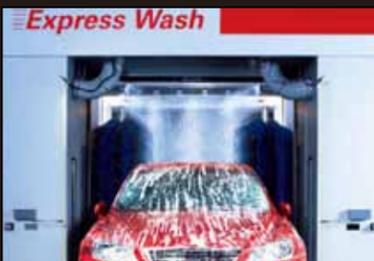
スピードパス

エクソンモービル独自の、SSにおける料金精算ツールです。給油機や洗車機の端末にかざすだけで、簡単に給油や洗車を行うことができ、素早く、安全に決済を完了することができます。



エクスプレスウォッシュ

統一されたデザインと使いやすい操作パネルを備えた、「エクスプレスウォッシュ」。泡ジェットを中心とした高品質のドライブスルー洗車は、お客様から高い評価をいただいています。



セブン-イレブン

コンビニエンスストア業界ナンバー1ブランドのセブン-イレブン・ジャパンとの複合店舗は、お客様に利便性を提供するとともに、セルフSSの新しいブランドイメージを創出しています。



ビデオポンプ

高輝度のカラー液晶ディスプレイ (タッチパネル) を備えた給油機です。メニュー画面では、セルフSSの操作ガイドに加え、SS内の洗車機やドトールコーヒーへの注文を行うことができます。



モービル1センター

クイックで快適なオイル交換を、プロのSSスタッフが実施する、エンジンオイル交換センターです。化学合成エンジンオイル「Mobil1」をはじめ、各種オイルを選ぶことができます。



ドトールコーヒーショップ

高いブランド力を誇るドトールコーヒーショップとの複合店舗を展開。季節ごとのオリジナル商品や美しく清潔な店舗など、お客様に質の高いサービスと利便性を提供しています。



■ 産業・ホームエネルギー

産業・ホームエネルギー部門では、産業用燃料やLPガスなどの安定供給と競争力のある価格に加えて、代理店・特約店の方々にとっても共通の課題である人材育成に焦点を当てたセミナーを継続開催しています。

産業用燃料

原油から生産される多様な製品をSS以外の流通チャネルで販売しています。例えば、軽油は主に公共交通機関や物流業界へ供給しており、灯油・A重油は暖房用だけでなく、工場や病院などのコジェネレーション・システムへの供給が増加しています。C重油は、火力発電所や工場のボイラーの熱源、そして大型船舶の燃料としても使われます。

LPガス

環境にやさしいエネルギーであるLPG (液化石油ガス)。旧ゼネラル石油 (現東燃ゼネラル石油 (株)) は、日本で初めて中東よりLPGの製品輸入を行い、国内でのLPG消費拡大の道を拓いてきました。主に川崎工場・堺工場・和歌山工場の拠点より全国の充填所・工場に供給しています。また、大消費地に近い川崎と堺に自社輸入基地を所有し、安定供給に貢献しています。



■ 船用燃料

日本の主要港エリアである東京湾、大阪湾に供給基地を配置し、隣接する当グループ製油所にて生産される高品質な燃料の安定供給を行っております。的確な供給システムと、品質管理チームにより、一貫した品質の維持に努めております。



■ 航空用燃料

当グループは、高品質な航空燃料・カスタマーサービスを提供しています。卓越した空港オペレーションとともに、国内外の主要航空会社、公官庁等のカスタマーへジェット燃料を主とする航空燃料の供給を行っています。



世界最高レベルの技術の結晶



フォーミュラ1のサポートなどで世界的なブランド力を持つ自動車用潤滑油。世界の主要機械メーカーに推奨されている工業用潤滑油。信頼性の高い技術サポートシステムで優れた製品の供給を支える航空用・船用潤滑油。精製部門と連携して生産・販売を行うベースオイル・スペシャルティ製品。潤滑油・スペシャルティ部門では、こうした高付加価値製品を展開しています。特に自動車用潤滑油「モービル1」は、世界の主要な自動車メーカーに工場充填油として選ばれています。

■ 工場



高級オイルラインアップ

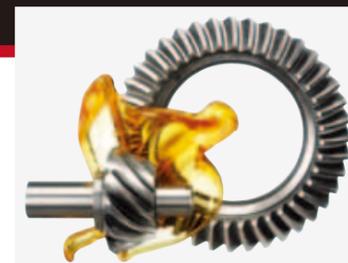
当グループは、化学合成エンジンオイル、モービル1をはじめとする様々なオイルラインアップで、自動車用・工業用・航空用・船用など、あらゆるニーズにお応えしています。

■ 自動車用潤滑油

モービルブランドの潤滑油は、ガソリンエンジンが登場する以前からテクノロジーの進化を支え続けてきました。ライト兄弟の初飛行、宇宙ステーションの打ち上げ、初期の自動車から最新のフォーミュラカーのエンジンまで、モービルのオイルは歴史の様々なシーンを彩ってきました。モービルの自動車用潤滑油は、API (米国石油協会)、ILSAC (国際潤滑油標準化認証委員会)、ACEA (欧州自動車工業会) などの最新規格を満たし、日常のカーメンテナンスから、過酷な条件下での使用まで、あらゆる場面で効果的にエンジンを保護し、車のベストパフォーマンスを引き出します。特にモービル1は高性能ベースオイルと先進の添加剤技術により設計された化学合成エンジンオイルであり、世界中の顧客から永きに亘って愛され続けてきました。当グループでは、モービル1をはじめとするモービルブランド自動車用潤滑油の国内販売に加えて、お客様の最新のニーズに、よりの確に答えるべく、国内大手自動車メーカーとの次世代製品の共同開発や純正オイルの供給も行っております。

■ 工業用潤滑油

モービルブランドの工業用潤滑油は100年の時を越えて潤滑技術の先駆者であり続けてきました。この分野の研究で蓄えられた幅広い専門知識と経験は、先進の工業機器で用いる潤滑油の開発に大いに役立てられています。そして開発された潤滑油は、ユーザーの設備の生産性向上、省エネルギーに大きく貢献しています。生産性向上、省エネルギーへのチャレンジは、先端技術を駆使した合成潤滑油モービルSHCを生み出すに至ります。世界の主要な機械メーカーに推奨され、高い技術サポートとともに提供されるモービルブランドの工業用潤滑油は、製造業や風力発電をはじめとした電力の分野において特に強みを発揮しています。



鶴見潤滑油工場

京浜工業地帯の中核である横浜市北東部に位置し、大消費地である首都圏に属しています。石油製品の中でも、自動車や各種機械用の潤滑油製品に特化し、製造から配送までを一貫して行っており、化学合成エンジンオイルであるモービル1は当工場の主要な出荷製品となっています。また、近隣企業各社と協力して環境保全および安全性向上への取り組みを実施するとともに、地域社会の各種活動にも積極的に参加しています。



■ 航空用・船用潤滑油

モービル・エクソンブランドの優れた品質の航空用・船用潤滑油は世界各国で広く使用されており、日本においても当グループにより、質の高いサービスを顧客へ提供しています。航空用潤滑油は、航空機用エンジンオイル、油圧作動油、グリースと幅広い製品を取り揃え、様々な技術サポートを通じ世界中の顧客から絶大な支持・信頼を得ています。エンジンメーカー、機体メーカーに推奨された製品は、航空機の安全運航に寄与しています。内航船顧客へは、船舶用エンジンオイル、油圧作動油、ギヤ油、グリースなど潤滑油全般を提供し、船舶のトータルコスト削減に寄与する化学合成油を始めとする高品質な製品とサービスで顧客のニーズにお応えしています。また日本の外航船顧客へは、当グループがエクソンモービルとの戦略的提携関係の下で営業・技術支援活動を提供し、船舶の安全かつ効率的な運航に大きく貢献しています。

■ ベースオイル・スペシャルティ

エクソンモービルとの戦略的提携関係により高度な品質管理システムを用いて、高付加価値のスペシャルティ製品を生産しています。精製部門と連携してワックスを全国各地に出荷するとともに、積極的に世界市場に向けた輸出拡大に努めています。ベースオイルはエクソンモービルのチャンネルを通じてアジアを中心に輸出しています。



石油精製との一体運営から生み出される競争力ある製品群



東燃ゼネラルグループの石油化学部門は、同じ敷地内にある石油精製部門から原料を調達できるという恵まれた環境にあります。東燃ゼネラル石油、東燃化学は、一体運営によるシナジー効果を活かし、石油化学製品市場において確固たるコスト競争力を維持しています。



高品質の化学製品は、自動車用製品から化粧品に至るまで、生活のあらゆるシーンで活用されている最終製品に欠かすことができません。私たちは、このような高品質の化学製品を国内のみならず急成長を続けるアジア市場にも安定的に供給することにより、広く社会に貢献しています。

■ 基礎化学品

航空機・自動車部品、電子電器部品から食品包装材・家庭生活用品まで多種多様な用途の化学製品基礎原料となるオレフィン類（エチレン、プロピレン、ブタジエン等）とポリエステル繊維、ペットボトル、ナイロン繊維などの原料となる芳香族類（パラキシレン、オルソキシレン、ベンゼン等）を石油精製とのシナジーを活かした競争力を持って、国内・海外へ安定的に供給しています。



■ 石油樹脂

石油精製との一貫性を強みとし、未水添および水添石油樹脂を製造販売しています。耐熱性、耐寒性、接着性、透明性、ガスバリア性等、お客様のニーズに合わせたすぐれた機能性を発揮します。工業用接着剤、高機能テープ、環境タイヤ、紙おむつ等のホットメルト、食品用フィルム改質剤など、幅広い用途に使用されています。これらは特に新興国において需要の大幅な伸びが期待されています。



■ 機能化学品

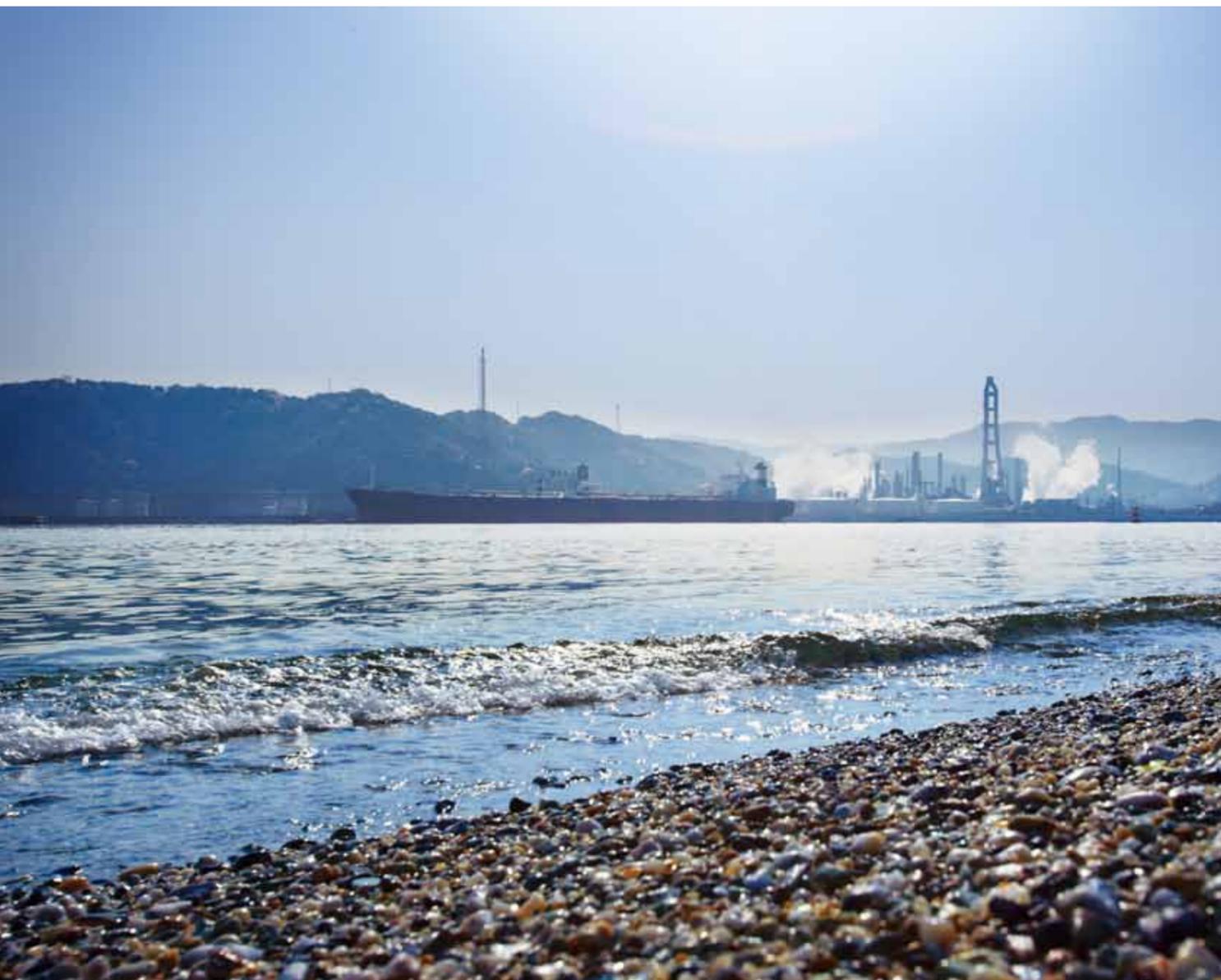
高い溶解力と機能性を兼ね備えたメチルエチルケトン（MEK）は、塗料・印刷インキ用溶剤から電子部品樹脂加工、光学パネル用フィルム成型、ケミカルプロセス溶媒など多分野のあらゆる用途で広く活用されています。石油精製設備を利用して製造される炭化水素溶剤は、自動車用塗料、農業、金属加工油などに配合されています。見えないところで、便利で豊かな生活を支えています。



Corporate Social Responsibility

社会的責任

「良き企業市民」として社会に貢献します



東燃ゼネラルグループは、企業も社会を構成する一員であるという考え方から、事業を行うすべての地域において「良き企業市民」であることを目指しています。高い企業理念を維持し、関係する法律や規制を順守するだけでなく、操業する場である地域社会の発展・活性化に貢献していくことが非常に重要であると考えています。

■ 安全

当グループは、安全・健康・環境管理システムとして完璧操業のためのマネジメントシステム (OIMS: Operations Integrity Management System) を1990年代から導入し、その後も改善活動を実施しています。また、人の行動に焦点を当て、不安全行動を引き起こすロス(人身災害、機器・資産の損傷など)の予防を図るため、ロス予防システム(LPS: Loss Prevention System)を2000年に導入し、日々の活動において大きな成果をあげています。



■ 健康

当グループでは、産業医および産業衛生技術者が有害な因子を科学的に評価し、従業員・協力会社社員の健康および地域への影響を最小限にする対策を実施しています。



■ 職場環境

● 人材育成

従業員の育成には、公平で客観的な業績評価の実施が不可欠です。そのために当グループでは、上司と従業員の共同責任のもと、両者の定期的なコミュニケーションを軸に、短期的な業務目標の進捗管理や長期的なキャリアプランの作成、教育計画の作成・実施を行っています。



● 多様性

変化の激しい時代において、企業が持続的な発展をするためには、多様性に基づく豊かな創造力や発想が欠かせません。当グループでは、すべての従業員の個性を尊重し、能力を最大限発揮できる職場の提供に努めています。また、女性の積極採用を推進しており、女性社員が結成したネットワーク活動も行っています。



■ コーポレート・ガバナンス

当グループは、法令を順守し、健全な企業統治の下に事業を行っています。優れた事業成果を出すことが大切であると同様、その事業成果がどのようにして得られたのか、その過程こそが当グループにとって重要であると考えています。

当グループが業務を行う上での基本方針としては、「業務遂行基準」として明確に定められています。「業務遂行基準」には、16項目の基本方針に加え、各種ガイドライン等が定められています。

当グループでは、事業におけるさまざまな活動を指揮、管理、監督するための手段のことを「コントロール」と総称しています。徹底した管理体制は、マネジメントコントロールシステム (SMC: System of Management Control)、完璧な経営管理システム (CIMS: Controls Integrity Management System) の2つの管理システムにより、継続的にコンプライアンスの状況を確認しています。



■ 環境への取り組み

● 環境に関する方針

当グループは「環境に関する方針」のもと、操業にかかわるあらゆる環境側面に対して高いレベルの責任を持ち、環境に関わるすべての法的要求を満たしながら、「Protect Tomorrow. Today. (明日の環境は、今日守る)」というスローガンを掲げ、環境にインパクトを与える環境事故をゼロとし、環境パフォーマンスの継続的な改善に努めています。

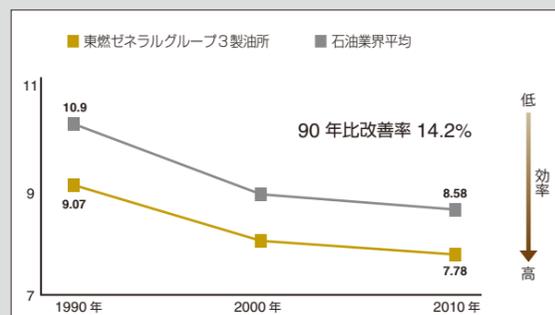
● 環境ビジネス計画

各製油所、石油化学工場、物流部門では、目標を達成するため環境ビジネス計画を毎年策定します。前年計画の結果レビュー、現在から将来に予想される環境やビジネスの状況、公共の課題や規制動向などを評価し、環境保全のための短期および中長期の具体的な計画が必要な設備投資を含む計画を作成します。

● 気候変動リスクへの対応

当グループは、従来から、製油所と石油化学工場の省エネルギー活動において、業界をリードする先進的な取り組みを実施してきました。その結果、当グループの製油所エネルギー消費原単位（常圧蒸留装置換算通油量単位当たりの原油換算エネルギー使用量）は、常に業界のトップレベルで推移しています。

■ 東燃ゼネラルグループ3製油所のエネルギー消費原単位の推移



$$\text{製油所エネルギー消費原単位} = \frac{\text{原油換算エネルギー使用量 (KL)}}{\text{常圧蒸留装置換算通油量 (千KL)}}$$

■ 社会への貢献

当グループは、地域社会への責任として、エネルギーの安定的な供給、安全・信頼の確保に努めるとともに、操業する地域社会の発展・活性化に貢献していくことを非常に重要な使命であると考えています。このような考えに基づき、環境保全、健康・福祉、地域交流、教育、芸術・文化など多岐にわたる社会貢献・文化活動を通じ、地域社会との連携を深めています。以下は、そのいくつかの具体例です。

<本社>

児童文化賞・音楽賞



チャリティーラン



東燃国際奨学財団・ゼネラル石油研究奨励財団への支援

<川崎工場>
献血活動



ジョブシャドウ・プログラム

<堺工場>
堺シティオペラゲネプロ招待会



フェニックス・テニス教室

<和歌山工場>
みかん山パトロール



<関西地区精製販売合同>
アドプト・フォレストニ上山
(大阪府太子町ニ上山の森林保全活動)



海岸清掃ボランティア

東日本大震災発生後の被災地支援

2011年3月に発生した東日本大震災に際して、当グループは、震災発生直後よりグループ全体で定められた災害対応プランに則って行動しました。具体的には、速やかに緊急対策本部を設け、被災地方面の従業員やその家族の安全、石油製品の供給体制、そして政府・業界との共同支援活動に取り組む体制を立ち上げ実行に移しました。

● 製品供給体制の迅速な復旧

東北地方の太平洋沿岸では震災後石油供給設備すべてが一時的に操業不能となりましたが、当グループは宮城県塩釜油槽所復旧への迅速な対応を行い、震災からわずか9日後には石油製品の出荷を再開させることができました。同油槽所は石油他社にも利用されるなど東北地方への燃料供給拠点として重要な役割を果たしました。



● ドラム缶による燃料油の緊急出荷

経済産業省の要請を受け、当グループでは3月19日から25日にかけて、和歌山工場より200リットル入りドラム缶で1,000本のガソリン及び軽油、灯油を出荷しました。工場の充填設備を活用して出荷されたドラム缶燃料は、陸送先の航空自衛隊入間基地から空輸され、燃料不足が深刻な被災地の避難所などに供給されました。



● 仮設給油所の設置

震災後から一か月あまり、岩手県陸前高田市には操業可能な給油所が存在しない状況が続いていました。当グループは経済産業省や消防庁の協力の下、特殊化学製品搬送用のコンテナを使用し、前例のない方法で仮設給油所を設置しました。この仮設給油所は4月21日に完成、翌22日に陸前高田市に無償譲渡され、地域住民への燃料供給拠点としての役割を果たしました。



● 100万リットルの燃料寄付

被災地の困っている方々に直接支援できる方法はないかとの視点から、震災の被害の大きかった岩手、宮城、福島の3県の約30の自治体に対し、当グループの給油所において10リットルのガソリン、軽油または灯油に無償で引き換えられるクーポン券を合計10万枚寄贈し、それぞれの自治体の実情に応じた最も有効な方法で活用いただきました。

